

50cm×50cmに込められた「織り」の伝統と最新技術



タイルカーペット Axile



ウールカーペット 光彩

ニッシン株式会社

世界初の直織りシステムを開発

昭和5年にいち早くヨーロッパの織機を導入し、以後約80年、カーペット製造メーカーとして成長を遂げてきたニッシン。ウール比率の高い高級カーペットを都心部の格式あるホテル、地方の高級旅館、官公庁の施設等、全国の名立たる施設に納入している。大量生産型のリースナブルなタフテッドカーペットがシェアを広げる昨今だが、耐久性、柄の表現力、繊細な色合いなど、オリジナリティーは機械織りじゅうたんが勝るといえる。

「求められる商品を提供できるように、自社で機械を開発し、先端技術を取り入れながらやってきました。80年近く培った技術力で付加価値の高い商品を世界に向けて発信していきたいですね」と語るのは5代目となる田中弘之社長。

昭和61年には世界で初めて紋紙をなくし、コンピュータでの表現を可能にした直織りシステム（タイルクトジャガード）を開発。ヨーロッパ



の各メーカーにその技術を伝えた。その革命的な新技術で、当時、世界中の織りカーペットメーカーにニッシンの名を轟かせたという。

織り製法においても、カットとループを同じ横一列で織ることができ機械を開発するなど、柄や色の風合いや表現力を高めるべく技術を進化させてきた。

英国王室も認めた重厚感溢れるデザインタイルカーペット

同社の特筆すべき独自性は、世界でも類を見ない「Axtile（アキスタイル）」というタイルカーペットの開発にある。タイルカーペットは汚れた場合でも部分的な交換で済み、オフィスの配線工事をスムーズにする施工、運搬、メンテナンス等の利便性と相まって需要が伸び、世界市場でも右肩上がりの人気商品となっていた。

ただし、製法の関係上、従来のものは無地、あるいは50cm角1枚の中で完結する柄が多く、デザイン面で満足できるものは少なかった。その難点をニッシンの織り技術と最新の接着技術を組み合わせた「Axtile」がクリアしたのだ。

断裁し、接着剤を塗った50cm角の基板の上に、U字状のパイル一列156本を一本一本植えていく製法で、でき上がりの絵柄をピタリ合わせ、目地を見えなくする。毛足も長く、ロールカーペットと見聞違うほどだ。「顧客からの注文に応じて改良を重ね、十数年の時をかけてやっと開発した製品。他社には絶対

に真似ができない」と田中社長は言い切る。織りじゅうたんの重厚感とコンパクトに収納できるタイルカーペットの手軽さを兼ね備えた同品で、平成17年にはイギリスの羊毛公社主催のコンテストで英国羊毛大賞を最優秀賞、アンドロニュー王子から直接に表彰を受けた。

商品の開発や海外市場への進出はもちろんだが、今後の課題はフローリングが当たり前となった市場に「カーペットの良さ」を訴求していくことだという。

主な事業内容

敷物・一般装飾用織物の製造・販売・前各項付帯する工事、等仕上り工事、等切の工



田中弘之さん
代表取締役社長

Company Profile

ニッシン株式会社

住所 / 〒584-0069
大阪府富田林市錦織東3-15-2
創業 / 明治37年4月
設立 / 昭和5年3月
資本金 / 5,000万円
従業員 / 55名（平成21年1月現在）
TEL / 0721-23-2181
FAX / 0721-23-2182

大阪
17

<http://www.nissin-carpet.co.jp/>